



内閣府の役割・業務内容

内閣府は、内閣及び内閣総理大臣の主導による国政運営を実現するため、内閣総理大臣の補佐・支援体制の強化を目指して平成13年（2001年）に設置された内閣総理大臣を長とする内閣の機関です。

行政事務を分担管理している各省より一段高い立場から、国政上の重要な政策について企画立案・総合調整等を行っています。

内閣府に求められる役割は、日本の未来を切り拓くためのグランドデザインを描くという、壮大なものであり、国民の目線に立って身近な課題に取り組む、国民ひとりひとりと密接なものです。

内閣府の特徴

特命担当大臣

内閣府には、重要政策に関する企画立案・総合調整を迅速かつ強力に行うため、特命担当大臣が置かれています。

重要政策会議

内閣総理大臣がリーダーシップを発揮するためには、政策選択に資する情報の収集や政策効果の分析など、英知の結集がボトムアップとして重要となります。

内閣府には、そのような英知を結集する「知恵の場」としての役割があり、経済財政諮問会議、総合科学技術・イノベーション会議、国家戦略特別区域諮問会議、中央防災会議、男女共同参画会議など各分野の専門家や関係閣僚などで構成される重要政策会議などが設置されています。

内閣府職員になると…

勤務地・転勤

内閣府の勤務地は、主に東京都となります。単身赴任等の心配が少なく、生涯設計を立てるのも容易です。

研修制度

幅広い業務を担っている内閣府では、職員の成長、専門性の向上等のための機会や「経済財政分野における政策分析専門家育成プログラム」といった独自の研修制度が整備されています。新採用職員・2年目職員・課長補佐級向けなど、各階層で必要なスキルを身に付けられる研修のほか、会計実務、excelスキル、経済分析手法等を学べるスキルアップ研修等もあります。

先輩職員からのメッセージ・体験談

入府を目指している皆さんへ

内閣府は様々な分野の課題に携われることや、時代の変化とともに新たな出会いや経験を積む機会がたくさんあるのが特徴です。どんな部局・業務でも常に学び続ける姿勢が重要だと思います。

また、どんな業務でも相手の目線、国民の目線からどう見えるかを考えて行動することも大切であると思います。



所属 北方対策本部
平成30年度採用者
一般職（高卒程度）



所属 政策統括官
（経済財政運営担当）
平成30年度採用者
一般職（大卒程度）

採用一年目の思い出

配属された半年後にOECDの会議に出席するため、フランスのパリに出張しました。初めての出張でしたが、部署の方々に教えていただきながら、現地との連絡や資料作成等の準備を行いました。

会議当日、各国の職員が集まる会場で、スクリーンに自分の作成した資料が映し出された瞬間は今でも鮮明に覚えています。

問い合わせ先

内閣府大臣官房人事課任用係
〒100-8914 千代田区永田町1-6-1
TEL 03-6257-1285

採用情報

（内閣府HP）
<https://www8.cao.go.jp/jinji/saiyou.html>